

個性が輝く  
おんな & おとこ  
まちが輝く

# とっぎゃざー

みんな仲良く一緒に

2017.9.第17号



## 輝くひと

林美佐子さん (八女市) にインタビューしました! ..... 2

☆簡単料理レシピ ..... 3

☆ドメスティック・バイオレンス (DV) とは? ..... 4

☆男性講師による男の料理教室・男と女の川柳・編集後記 ..... 5~6



情報誌「とっぎゃざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。



林 美佐子 さん

結婚を機に勤めていた会社を退職。3人のお子様の子育てをしながら再就職した会社で30年勤務し定年。その後は福岡市女性翼の会の役員を4年間務められ、現在は、吉永フラタヒチアンダンス久留米校に所属し、フラダンスの指導に当たられている。福岡広州ライチ倶楽部(中国広州市との交流活動を行う福岡市の市民団体)のメンバーでもある。男女が輝くネットワークやめ、居住地である立花町の光友地区地域振興会議で地域貢献活動もされている。

《取材日2017年6月1日》

**取材者** 他県から八女市に移住されたと言いましたが、不安や心配事は無かったですか？

**林さん** 夫の勤務の都合上、転勤は常にあり色々な所に住みました。子どもの幼稚園を申し込む時、昭和48年に八女に引っ越してきました。親戚を頼る環境にはなかったので、地域の方たちや、子ども会で繋がったコミュニティでたくさんの方に助けていただきながら、特に困ることもなく、子育てできました。地域の方たちとのコミュニケーションも良好で、良い環境でした。困ったと思った事は一度もありませんよ。子どもたちも、ここから引っ越しはしたくないと希望したので、立花町に家を建てました。

**取材者** 様々な活動の場を広げてありますが、家庭・仕事・活動の時間の配分やバランスはどう工夫されていますか？

**林さん** その時与えられたことをきちんと一生懸命やるのが基本。その時その場の、目の前のことをやる、メリハリをつけることを大切にしてきました。人として、いま何ができるか？いまやれる人がやる。男女の固定観念を捨てる。男女共同参画の理念ですね。それは、家庭でも職場でも同じことですね。例えば、

家庭では、早く帰宅した方が食事の支度をする。自然と時間が空いている方が、掃除や洗濯をする、というふうには。

子育て中の行動範囲は、家庭・仕事・PTAしかなかったのですが、福岡県女性海外研修事業「女性研修の翼」に参加したことが私を大きく変えるきっかけとなりました。職場で男女雇用の問題点を原稿にまとめ応募しました。幸いにも企業からの推薦状を頂き、20名の団員の一人となり、フィンランドの首都ヘルシンキ、ドイツの首都ベルリンへ研修に行ったことで私の活動範囲は広くなりました。それからの私は、出逢った方々と切磋琢磨し、大いに刺激を受け、益々、女性が活躍する場を確保したいという思いが強くなりました。



**取材者** イキイキと元気に活動を続けておられる原動力は何ですか？

**林さん** 栄養・休養・運動をちゃんとするんですね。あと数年で、定年退職を迎えるというタイミングで、運動が足りないなと感じ、一生できる運動を探していたときに、

フラダンスと出会いました。5、6年をかけてインストラクターの資格を取得し、退職前に自分の教室(アクロス福岡・糸島アゴラ他)を持ちました。フラはあくまでも趣味ですが、当初より、フラのインストラクターの資格を取得するという目標をしっかりと持って臨みました。こういう活動が続けられたのは、家族がそれぞれ自立してくれてきたからだと思います。

定年後は、「翼の会」八女支部の再構築・地域振興会議・行政区の役員、自主講座政治学級「あじさいの会」の立ち上げ等の活動で、幅広い年代の人との関わりを持っています。これは本当に大切なことだと実感しています。それからまた、なんと！再就職を目指し、就職活動した結果、採用が決まり、これからまた益々ワクワク楽しみです。出逢い＝原動力ですね。

こうなりたい！こうしたい！と願わなければ叶わない、そう思います。



取材者 仲間、後輩に継承したい事を教えてください。

**林さん** 社会の労働力は男性だけでは成り立たない状況下にあります。女性の労働力が求められている現代、持てる能力を十分に発揮してほしいのです。求められたら断らず受け止めてほしい！女性だからという理由で引かないでほしいです。力不足ですが勉強します、という姿勢で、挑戦を続けてほしい！そう思います。そのチャンスを活かしてほしいと願っています。

※福岡県女性海外研修事業  
「女性研修の翼」

福岡県では、男女共同参画社会づくりを推進する女性リーダーを育成するため、地域や企業等で積極的に活動している女性を海外へ派遣する福岡県女性海外研修事業「女性研修の翼」を実施しました。

昭和58年度から始まったこの事業は、平成28年度で33回目となり、これまでに689名の方が参加されました。

研修に参加された方の多くが、県・市町村の各種審議会委員をはじめ、市町村議会議員や自治会長、企業の管理職や団体の役員に就任するなど、県内各地域の様々な分野で、男女共同参画社会実現の推進役として活躍されています。

女もすなる料理といふものさ

簡単料理  
レシピ



男もしてみむとて、するなり



材料（4人分）  
豚もも薄切り肉……300g  
青じそ……20～30枚  
梅干し……2～3個  
卵……1個  
A〔小麦粉……大さじ4  
塩、こしょう…少々  
パン粉……適宜  
揚げ油……適宜

巻きカツ

作り方

- ① 豚肉を広げ、縦半分に切った青じそ、ちぎった梅干しをのせてくるくると巻く。
- ② Aを混ぜ合わせたパウルに①を入れてからませ、パン粉をまぶす。
- ③ フライパンに深さ1～2cmの揚げ油を熱し、②をこんがり焼き揚げにする。

小麦粉と卵を混ぜれば手間が省ける



切り干し大根と  
きゅうりの  
青じそサラダ



甘みそ焼きおにぎり



材料（4人分・8個分）  
ごはん……茶わん5～6杯分  
ごま油……適宜  
みそ……大さじ4  
A〔はちみつ……大さじ4  
万能ねぎのみじん切り…10本分

作り方

- ① おにぎりを8個作る。
- ② フライパンにごま油を熱し、①の両面を焼き、皿に取り出す。
- ③ Aを混ぜ、②に塗る。



材料（4人分）  
切り干し大根……40g  
きゅうり……1本  
青じそ……10枚  
マヨネーズ……大さじ2  
しょうゆ……少々  
レモン汁……適宜



作り方

- ① 切り干し大根はさっと洗って、食べやすい長さに切り、水1カップにつけておく。
- ② きゅうりと青じそは千切りにし、青じそは飾り用に適量を残し、①をしぼって合わせる。
- ③ マヨネーズ、レモン汁、しょうゆを加えてあえ、器に盛り、残りの青じそをのせる。

# ドメスティック・バイオレンス（DV）とは？

あなたは、パートナーとの間にこんな事はなかったですか？  
身体的なもの

- ・ 物を投げつける、物を壊す
- ・ 髪を引っ張る、引きずりまわす
- ・ なぐる、ける

精神的なもの

- ・ 首を絞める、腕をねじる
- ・ 大きな声で怒鳴る
- ・ ののしる、バカにする
- ・ 生活費を渡さない
- ・ 日常の買い物レシートでチェック・精算する
- ・ 無視する
- ・ つきあいや外出を制限するなど

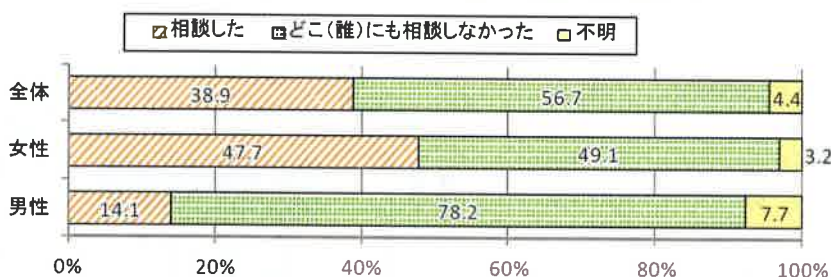
このような、配偶者や恋人など、親密な関係にある人から受ける、身体的・精神的・経済的・性的な暴力のことをドメスティック・バイオレンス（以下、DV）といいます。

その被害者は、多くの場合が女性です。また、DVは重大な人権侵害であり、男女共同参画のまちづくりのためには、解決しなければならぬ重要な課題のひとつです。

配偶者や交際相手からの暴力の被害経験があった人の割合は、県内では、女性27.7%、男性13.0%となっております。

います。しかし左のグラフのように、暴力を受けたことを誰にも相談できないで、一人で悩んでいる人が多くいる事がうかがわれます。

《 DVについての相談の有無（福岡県） 》



備考：福岡県「男女共同参画社会に向けての意識調査」（平成26年）

《 配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数及び配偶者からの暴力事案の認知件数（福岡県） 》



備考：相談件数（年度） 福岡県男女共同参画推進課調べ  
認知件数（年） 福岡県警調べ（認知件数とは、配偶者からの身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫を受けた被害者の相談等を受理した件数）

福岡県の配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数は、平成27年度3157件で前年度から減少していますが、県内の配偶者からの暴力事案の認知件数は、平成27年1657件で、平成23年から5年連続で増加しています。（平成28年度福岡県男女共同参画白書より）

DVは、自分には関係のない特別なことではなく、誰でも被害者、または加害者になってしまう可能性があります。身近な問題として、社会全体で考えていく必要があります。

いろいろな相談窓口があります。ひとりで悩まず、まずは相談ください。

## ●相談窓口●

\*相談は無料です。秘密は守られます。

### 《電話相談》

#### 【やめ女性ホットライン】

☎092-513-7337  
(月～金 10:00～17:00)

#### 【福岡県配偶者暴力相談支援センター】

☎092-711-9874  
(月～金 9:00～17:15)

#### 【福岡県南筑後保健福祉環境事務所】

☎0943-22-6965  
(月～金 8:30～17:15)

#### 【八女市役所】

男女共同参画生涯学習課

☎0943-23-1314  
(月～金 8:30～17:15)

### 《面接相談》

八女市支援員相談による面接相談  
毎月第2木曜日 午後1時30分から  
事前に予約が必要です。

☎0943-23-1314



ひとりで悩まずご相談ください

やめ女性ホットライン  
**092-513-7337**

毎週 月～金曜日 10:00～17:00  
(祝日、12/29～1/3は除く)

パートナーからのDV  
セクハラ  
職場のこと  
仕事のこと  
etc.

専門の女性相談員が電話で対応します。匿名でもOKです。秘密厳守。相談は無料ですが、電話料がかかります。ご了承ください。



## 男性講師による

### 男の料理教室

【「大切な男女まちづくり委員会」

「男女が輝くまちづくりの実現！」のスローガンのもと、男女共同参画の一環として、男性講師による男の料理教室を7月2日、働く女性の家に於いて開催いたしました。

光友、辺春、白木、北山の各地域振興会議より6〜7名の出席で、男性22名を5班に分け、女性役員5名はアシスタントとして入りました。年に1回の開催で、1年目は韓国料理、2年目はべんがら村の料理長によるフランス料理、3年目は魚料理、昨年は肉料理。そして5年目の今年は夏を乗りきるためのスタミナ料理。もちろん夕食のおかずにも、酒の肴にもなります。

メニューは、肉巻き半熟卵、パリパリ巾着納豆、新玉ねぎの丸ごとホイル焼き、そしてこの日のメイン料理、アジフライ青じそ入りタルタルソースかけの4品です。



調理開始早々、「この包丁は切れん」の声。どこにあったのか砥石を探し出してきて包丁研ぎが始まりました。「俺のも研いで」「俺のも」と次々に声上がり、瞬間に大半の包丁が切れ味抜群の包丁に仕上がりました。



魚の三枚おろし、皮はぎに挑戦。おろしたアジを、小麦粉、卵、パン粉の順に付け、油で揚げます。青じそ入りタルタルソースを作り、アジフライにかけ、キャベツの千切りを添えます。

玉ねぎをたくさん寄付していただいたので、ホイル焼きに使用した残りで、玉ねぎのマリネも、もう一品加わりました。ある班では、残っ

た小麦粉、パン粉、キャベツの端を刻んで、フナ焼が出来上がっています。



講師を男性にしたのは同性のほうが、疑問が生じた時、質問しやすいのではないだろうかと考えたからです。男の料理教室では、最初に食材の素材の美味しさを学んでいたこと、味付けは好みで、自分で感を得ていただくこと、料理は楽しいと感じていただくことをねらいとしてきました。5回実施して、包丁にも慣れ、料理に抵抗がなくなってきた事を感じました。

今回は残った食材の活用、包丁を研いでいただいたことなど、企画以上の成果を発揮していただきました。

それから私たちは、肉を半分に切る時は、パックのラップを外し、肉をまな板の上に取り出し、包丁で二等分します。しかし、今回発見だったのは、ラップをしたまま、包丁でパックごと二等分。使うとき、片方ずつ肉を取り出されたことでした。梅雨の時期、連日30度を超す暑さの中で、どちらの方が衛生上良いかを考えた場合、まな板を使わず、ひと手間省いた後者の手法が勝っていると感じました。男性に教えていただいた目からウロコのひとコマでした。



27名、ワイワイ言いながら、作った料理を昼食として試食し、全員が持ち帰りました。家庭で話題のひとつになったことでしょう。



アンケートには「男性が作る料理はどうしても酒の肴が多い傾向になってしまいがちだが、自分が食べるものを自分で作れるようになってよかった。」「魚を三枚に開くのは大変難しいイメージだったが、わかりやすく教えてもらってスムーズにさばく事が出来ました。」「来年も実施してほしい。」「今後も続けてほしい。」「大変楽しかった。」等々の感想がありました。

料理を一品でも覚えて、台所に立っていただくのが目標ではありませんが、光友、辺春、白木、北山の立花町4地区が合同で顔を合わせ、情報交換することもできました。地域振興会議の会長も3名出席していただき、立花町の男女共同参画が、少しずつ浸透していることを、とても嬉しく思いました。

## 八女市男女共同参画上映会

9/9(土) 会場 おりなす八女  
13:00開場 13:30開演 14:00上映

八女市男女共同参画上映会



9/9(土) 13:00開場 13:30開演 14:00上映(106分)  
会場 おりなす八女 ハーモニーホール

主催 八女市男女共同参画推進ネットワーク実行委員会・八女市  
問い合わせ 八女市男女共同参画推進係 0943-23-1314

問い合わせ 八女市男女共同参画・生涯学習課  
男女共同参画推進係 ☎ 0943-23-1314



イケメンになれぬからにはイクメンに

報連相ラインで済ませ会話をし

断捨離のコトバにしよっちゅうドキツとし

草食系息子を守ってくれる嫁

来世ではきみが夫でおれ妻で



## 編集後記

7月上旬、なかなか降らぬ雨に今年には空梅雨だなと言っていた矢先の大量降水と、近隣の町の大きな被害。全国にその様子が映し出されると、被災地に住んでいる知り合いのことが気になって連絡をしたり、逆に遠方の親戚や友人たちから「大丈夫か」と電話をもらったり。「繋がりに」って凄いなと思いました。

被害の大きさに悲しみを感じつつも、その一方で「ここいら辺りは良い処にしとかなきゃな」と、心のどこかでまるで他人事のように考えている自分がいたりもしました。ほんの数年前に、私たちも同様の被害に出遭ったばかりなのに。

本当の意味で「他の誰かの身になって考える」ってことは、すごく難しいことなのかもしれません。だって私たちは人それぞれに違った出会いがあり、また別れがあるんですから。そう考えると、相手の事を完全に理解することは難しくても、「それでも朋(とも)に生きていきたい」と思い続けること「そのものこそが、本当に大事なことはないか」と考えさせられた出来事でした。



H・M